

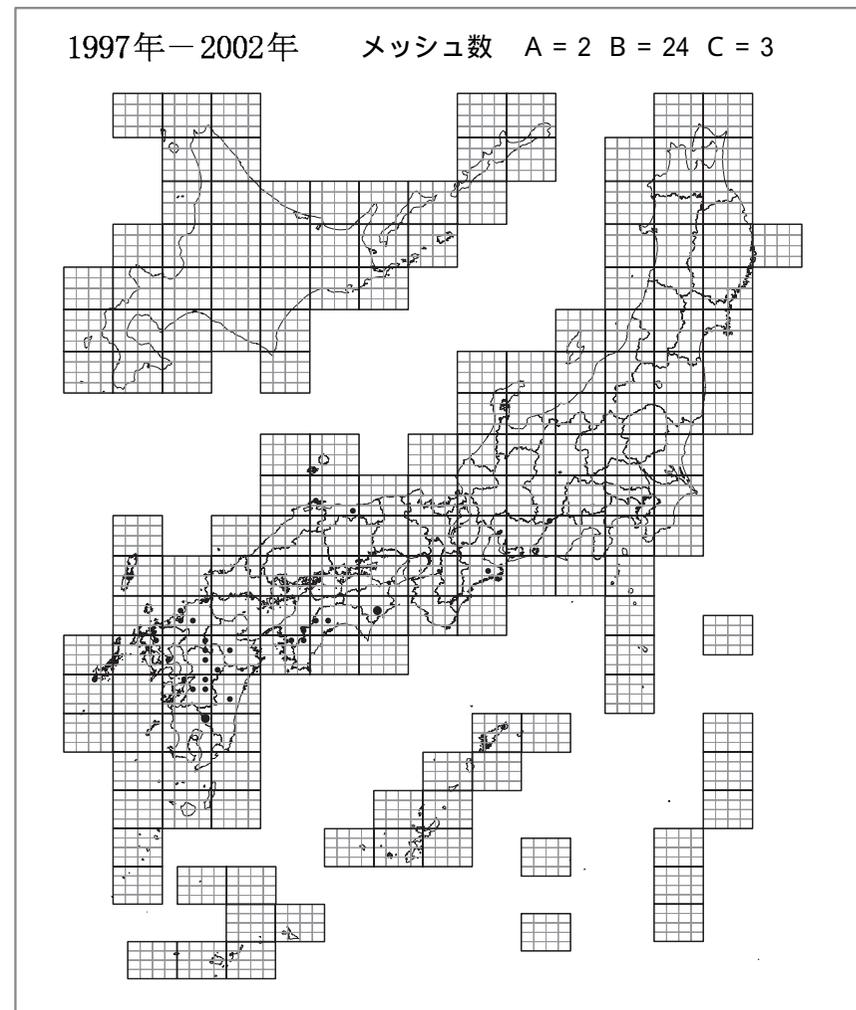
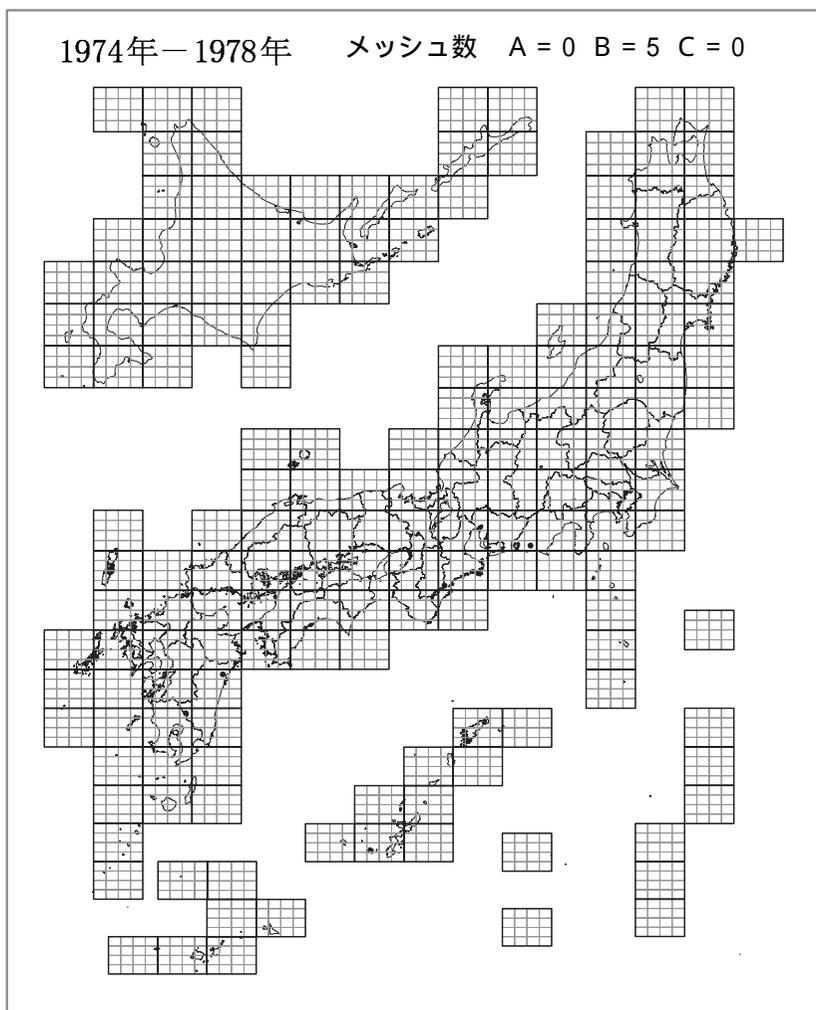
# ヤイロチョウ

(分類) スズメ目ヤイロチョウ科 *Pitta brachyura*

(環境省RDB種) 絶滅危惧 B類

(分布) 本州中部以南で夏鳥。東南アジアで越冬。アジア南部のものは留鳥。

(生態) よく茂った常緑広葉樹林に5月頃渡来し、6月上旬頃湿った斜面などの低いところにドーム型の巣をつくることが多い。3～6卵を15日前後抱卵し、15日前後で巣立つ。おもに地上でミミズや昆虫をとる。10月頃渡去する。



# ヒバリ

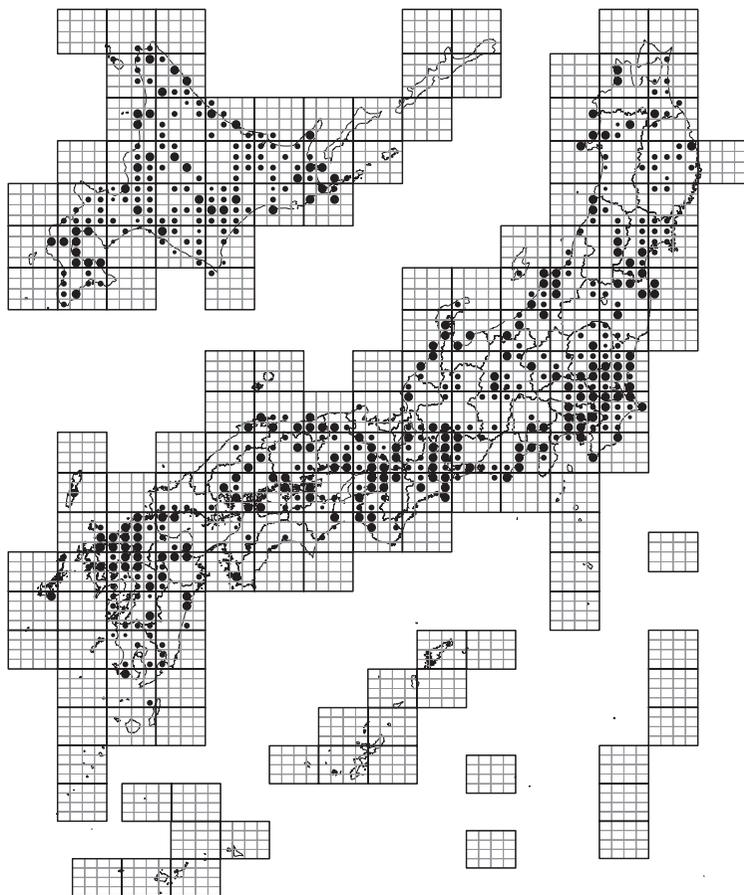
(分類) スズメ目ヒバリ科 *Alauda arvensis*

(環境省 RDB 種) -

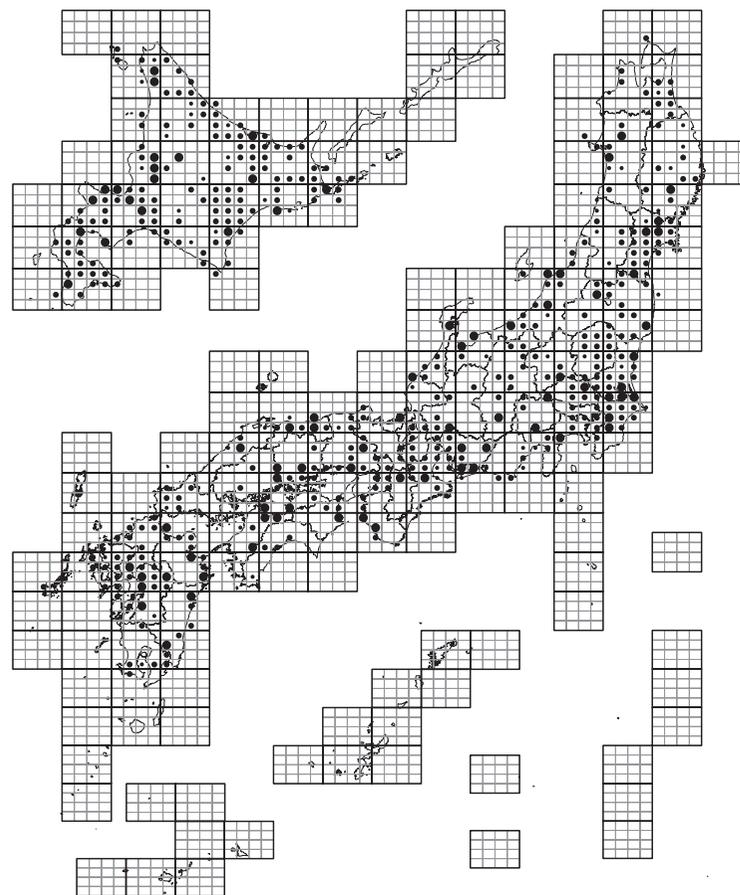
(分布) 九州から北海道で繁殖。北海道のものは本州以南で越冬。ユーラシアに広く分布。

(生態) 農耕地や草原にすみ、地上の草の間で営巣する。4月頃2～5卵を雌が約10日間抱卵し、約10日で巣立つ。雄はなわばり宣言のために2月頃から空中や地上でよくさえずる。地上で昆虫類や種子を食べる。

1974年—1978年    メッシュ数   A = 210   B = 289   C = 35



1997年—2002年    メッシュ数   A = 84   B = 343   C = 61



# ショウドウツバメ

(分類) スズメ目ツバメ科 *Riparia riparia*

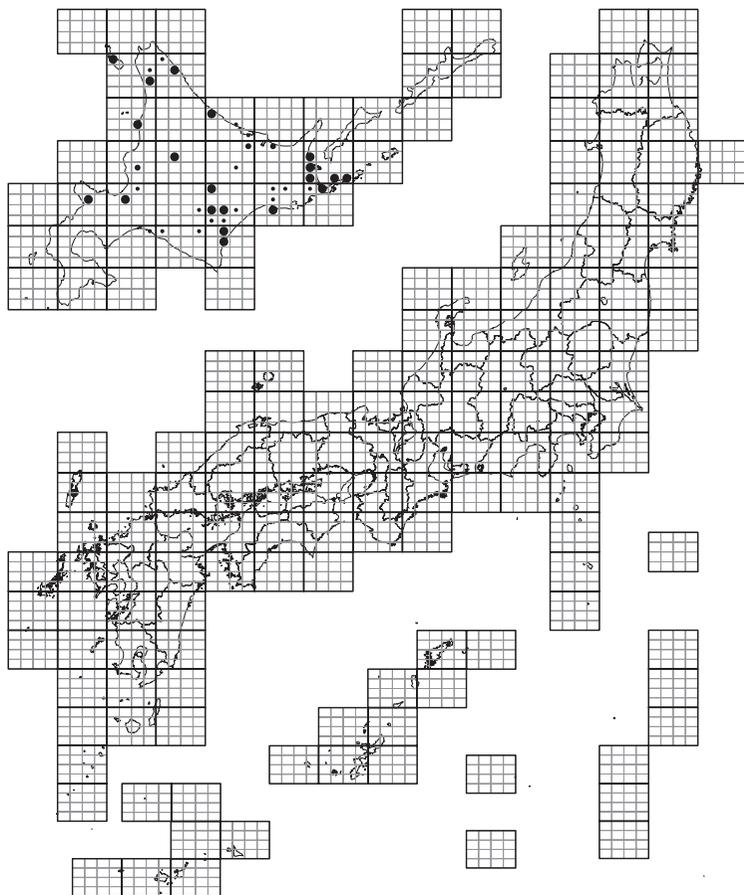
(環境省 RDB 種) -

(分布) 北海道で夏鳥。世界中～高緯度地帯で広く繁殖し、アジア南部やアフリカ、南米で越冬。

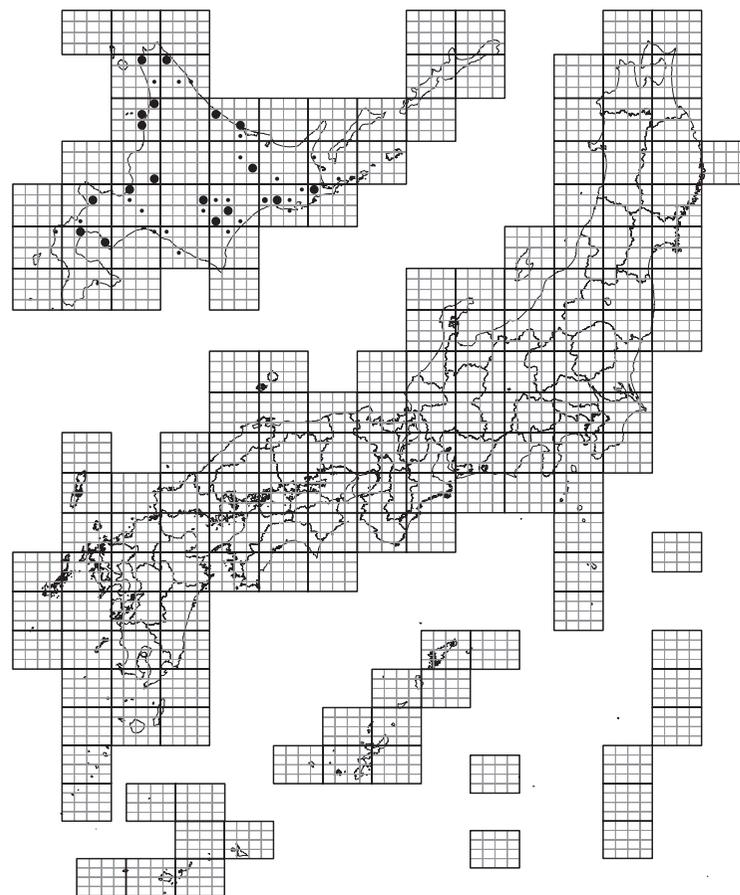
(生態) 集団で土の崖に穴を掘って営巣する。6月頃から3～6卵を約15日抱卵し、約20日で巣立つ。1繁殖期に1～2回繁殖する。

昆虫食で、飛びながらハエ類やウンカ類をとる。晩夏にはツバメ類の集団ねぐらに加わる。

1974年－1978年    メッシュ数   A = 20   B = 3   C = 20



1997年－2002年    メッシュ数   A = 18   B = 1   C = 25



# ツバメ

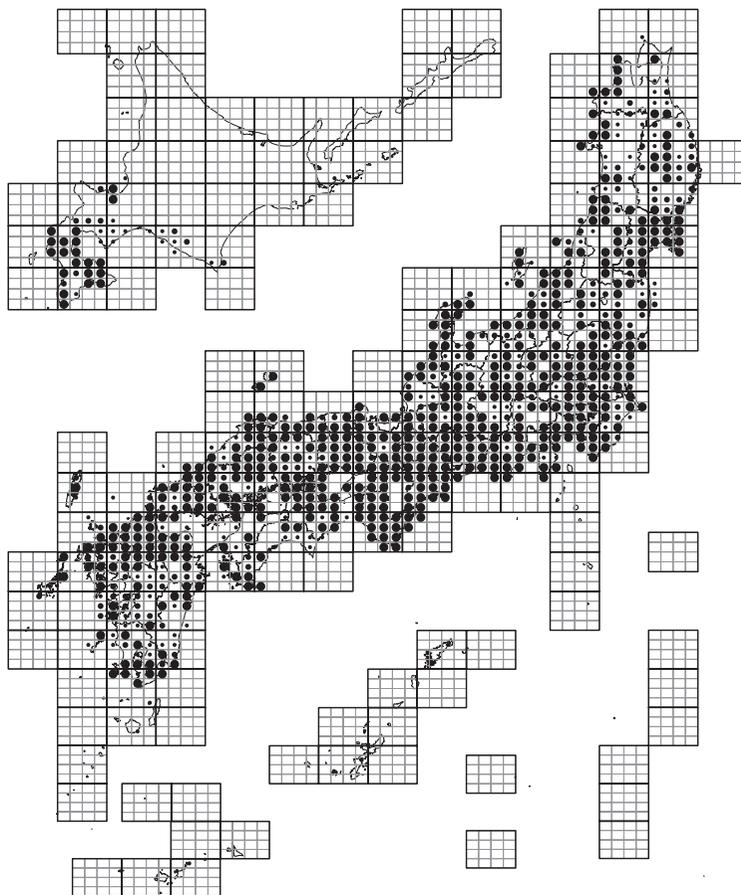
(分類) スズメ目ツバメ科 *Hirundo rustica*

(環境省 RDB 種) -

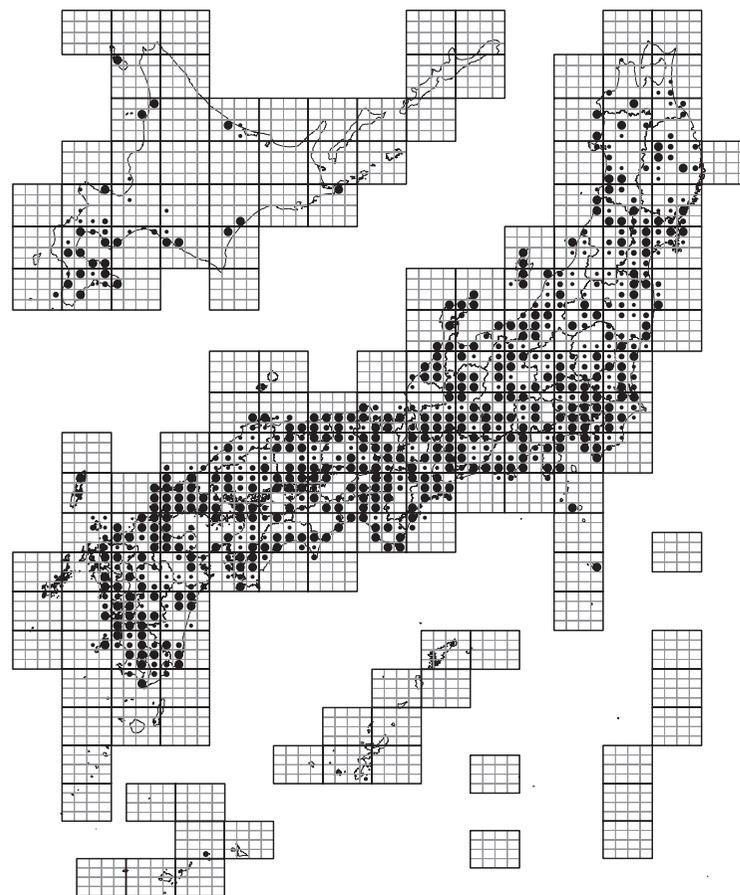
(分布) 北海道東部などを除く全国で夏鳥。南西諸島ではおもに旅鳥。アジア南部などで越冬。北半球で広く繁殖し、南半球で越冬。

(生態) 3月頃渡来し、人家の軒先などに土を唾液で固めた巣をつくる。4～6卵を約2週間抱卵し、約20日で巣立つ。1繁殖期2回繁殖をするものも多い。飛びながら昆虫類をとり、晩夏にはアシ原に集団ねぐらをつくる。

1974年－1978年    メッシュ数    A = 509    B = 135    C = 136



1997年－2002年    メッシュ数    A = 359    B = 186    C = 168



# リュウキュウツバメ

(分類) スズメ目ツバメ科 *Hirundo tahitica*

(環境省 RDB 種) -

(分布) 奄美諸島以南で留鳥。アジア南部からメラネシア、オセアニアに分布。

(生態) 4～5月頃にツバメに似た椀型の巣に2～3卵を産卵する。飛びながらカ、ハエ、飛翔性のアリ類などをとる。

